

活動報告 2015年7月～2016年7月

2015年7月

- 1日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表幹事が小林鷹之自民党「犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進のための提言 PT」事務局長に面会した。
- 5日 第165回関西集会
- 7日 ニューズ・レター 49号発行
- 同日 伊藤（裕）会員が近畿管区警察学校の学生400名に「犯罪被害者を支える、警察機関へのお願い」として講演した。
- 8日 高橋（幸）幹事が（社）日本精神科看護協会／精神科認定看護師資格拾得のための研修にて講師を務めた。
- 11日 有志が支援者／菊地真悟氏の個展を鑑賞した。
- 12日 第142回幹事会
- 13日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表幹事が笹川博義衆議院議員に面会し、困窮被害者について説明し理解を求めた。
- 18日 第143回関西集会
- 24日 高橋（正）副代表幹事、後藤幹事が小林鷹之自民党「犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進のための提言 PT」事務局長に面会した。
- 27日 渡辺副代表幹事は第20回基本計画策定・推進専門委員等会議に出席した。高橋（正）副代表が随同行した。
- 29日 渡辺副代表幹事が横浜市における「途切れない支援のために関係機関の連携を『見える化』する事業」の第1回会議に出席した。
- 30日 自由民主党政務調査会から「犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進のための提言」がされた。

2015年8月

- 2日 第166回関西集会
- 5日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表、後藤幹事は小林鷹之自民党「犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進のための提言 PT」事務局長に面会した。
- 6日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表、後藤幹事は鳩山邦夫自民党「犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進を図る PT」座長に面会した。
- 9日 第143回幹事会
- 17日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表、後藤幹事が鳩山邦夫 PT 座長／小沢政策秘書に面会し前記提言事項について意見交換した。
- 20日 野口会員が近畿管区警察学校にて講演した。
- 24日 渡辺副代表幹事は第21回基本計画策定・推進専門委員等会議に出席した。松村代表幹事、高橋（正）副代表幹事、後藤幹事が随同行した。
- 25日 加藤（裕）会員が山口県警察学校から講師を依頼

されて「被害者家族の思い」について講演した。

2015年9月

- 1日 野口会員が奈良県警察本部 被害者支援専科にて講演した。
- 6日 第167回関西集会
- 7日 林代表幹事代行が近畿管区警察学校で「犯罪被害者家族の思い」を講演した。
- 8日 渡辺副代表幹事が秋田県警察官を対象にした「犯罪被害者等のこころにふれる講演会」にて遺族の立場から話をした。
- 10日 有志が二科展にて玉造会員（高知）の作品を鑑賞した。
- 11日 渡辺副代表幹事が神奈川被害者支援センターにてボランティア養成講座初・中級講座で講師を務めた。
- 13日 第144回幹事会
- 15日 松村代表幹事、渡辺・高橋副代表、後藤幹事が鳩山邦夫 PT 座長／小沢政策秘書へ現状を説明した。
- 16日 渡辺副代表幹事が横浜市における「途切れない支援のために関係機関の連携を『見える化』する事業」の第3回会議に出席した。
- 18日 松村代表幹事、渡辺副代表、高橋副代表、後藤幹事は鳩山邦夫 PT 座長出席の下、警察庁と経済補償制度について話し合いをした。
- 19日 第144回関西集会
- 24日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表幹事、後藤幹事は経済補償問題の現状を、小林鷹之議員自民党 PT の事務局長へ説明し、親族間犯罪の原則撤廃、若年者への給付金額増額について要望した。
- 25日 坂口会員が「被害者の視点を取り入れた教育」の一環として豊ヶ岡学園にて講演した。
- 28日 渡辺副代表幹事が横浜市における「途切れない支援のために関係機関の連携を『見える化』する事業」の第4回会議に出席した
- 29日 渡辺副代表幹事は第22回基本計画策定・推進専門委員等会議に出席した。第2次犯罪被害者等基本計画実施状況評価案が原案通り確定。第3次犯罪被害者等基本計画案・骨子案について骨子案第1の2の(1)「犯罪被害者給付制度に関する検討」を除き、原案のとおり骨子案を確定。松村代表幹事、高橋（正）副代表幹事、後藤幹事が随同行した。

2015年10月

- 4日 第168回関西集会
- 8日 松村代表幹事、渡辺副代表、高橋副代表は鳩山邦夫 PT 座長／小沢秘書と面会した。
- 9日 松村代表幹事、渡辺副代表、高橋副代表は内閣府、警察庁と経済補償制度施策検討期間につき2回目

ゴシックで表示している項目は、「あすの会」の活動に関連する政府・政党等の動向を示します。

の話し合いをした。

- 12日 第145回幹事会
- 17日 第145回関東集会
- 27日 渡辺副代表幹事が福井被害者支援センター県民講座において「犯罪被害者・遺族になって思うこと」をテーマに講師を務めた。

2015年11月

- 2日 第169回関西集会
- 4日 渡辺副代表幹事が横浜市における「途切れない支援のために関係機関の連携を『見える化』する事業」の第5回会議に出席した。
- 11日 松村代表幹事、渡辺副代表幹事、高橋（正）副代表幹事、後藤幹事が上川陽子自民党司法制度調査会会長に面会し自民党の提言について意見交換した。
- 13日 岡本会員が長崎県被害者支援連絡協議会総会後の特別講演会にて犯罪被害者の現状を訴えた。
- 同日 松村代表幹事、高橋（正）副代表幹事が上川陽子自民党司法制度調査会会長に面会し自民党の最終提言について確認した。
- 14日 林代表幹事代行が堺市の自由の和泉学園で「犯罪被害者の権利とは何か」と題した講演を行った。
- 18日 高橋（正）副代表幹事が静岡県「犯罪被害者等支援担当者研修会」にて講師を務めた。
- 19日 松村代表幹事が静岡県「犯罪被害者等支援担当者研修会」にて講師を務めた。
- 21日 第146回関東集会
- 30日 第146回幹事会（在京幹事会）

2015年12月

- 6日 第170回関西集会
- 9日 渡辺副代表幹事が横浜市における「途切れない支援のために関係機関の連携を『見える化』する事業」の第6回会議に出席した。
- 12日 第147回幹事会
- 16日 法務省 第3回若年者に対する刑事法制のあり方に関する勉強会／第3回ヒアリングにて土師副代表幹事が「少年法も18歳に引き下げられるべき」と意見を述べた。松村代表幹事、高橋副代表幹事が随行した。
- 同日 野口会員が近畿管区警察学校にて講演した。
- 18日 渡辺副代表幹事は第23回基本計画策定・推進専門委員等会議に出席した。
- 19日 第147回関東集会

2016年1月

- 10日 第171回関西集会
- 16日 第148回関東集会
- 18日 林代表幹事代行が近畿管区警察学校で「犯罪被害者家族の思い」を講演した。

- 20日 林代表幹事代行が箕面市役所で「犯罪被害者の権利について」を講演した。
- 24日 第148回幹事会
- 26日 渡辺副代表幹事は第24回基本計画策定・推進専門委員等会議に出席した。第3次基本計画案が原案の通り確定した。
- 29日 松村代表幹事、高橋（正）副代表幹事、後藤幹事が上川陽子司法制度調査会会長、鳩山邦夫PT座長、小林鷹之PT事務局長と第3次基本計画の経済補償制度について話し合った。PTは菅官房長官（推進会議議長）へ要望書を提出することになった。

2016年2月

- 1日 松村代表幹事、渡辺副代表幹事、高橋（正）副代表幹事、後藤幹事は上川陽子自民党司法制度調査会会長と菅官房長官あて要望書について意見交換した。
- 7日 第172回関西集会
- 16日 鳩山邦夫PT座長は菅官房長官に要望書を提出し、若年層への給付金と親族間の原則支給には特に言及した。
- 19日 渡辺副代表幹事は犯罪被害者等に関する横浜市職員研修にて「犯罪被害者の声を聴く」をテーマに講話した。
- 20日 第149回関東集会
- 21日 第149回幹事会

2016年3月

- 1日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表幹事、後藤幹事は鳩山邦夫PT座長／小澤秘書より、河野太郎内閣府特命担当大臣からの回答書には経済補償制度の検討期間は3年間との説明を受けた。
- 3日 野口会員が近畿管区警察学校にて講演した。
- 6日 第173回関西集会
- 7日 自民党「政務調査会犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進を図るPT」に対し、親族間犯罪被害に係る在り方及び若年者の給付金の在り方等について意見書兼要望書を提出した。
- 8日 松村代表幹事と渡辺副代表幹事は自民党「犯罪被害者等保護・支援体制の一層の推進のためのPT」委員会にオブザーバーとして参加した。自民党提言に対し内閣府から回答が示され質疑があった。会議終了後には座長、事務局長と話し合った。
- 19日 第150回関東集会
- 22日 坂口会員が豊ヶ岡学園にて「被害者の視点を取り入れた教育」の一環として、被害者の立場から在園少年に向けて講話した。

2016年4月

- 1日 第3次基本計画閣議決定された。経済補償制度については、1年以内に結論を出すことになった。

- 3日 第174回関西集会
- 9日 松村代表幹事が公益財団法人矯正協会へ昨年度実績の説明をした。
- 16日 第150回関東集会
- 20日 有志が書道展にて岡村顧問の作品を鑑賞した。
- 同日 林代表幹事代りが近畿管区警察学校で「犯罪被害者家族の思い」を講演した。
- 24日 第150回幹事会

2016年5月

- 1日 第175回関西集会 シンクキッズ児童虐待防止法案設立の署名活動に協力した。
- 18日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表幹事は第3次犯罪被害者等基本計画において当会の主張に理解を示してくださった国会議員の方々を訪問し謝意を述べた。
- 21日 第151回関東集会

2016年6月

- 1日 「国外犯罪被害者弔慰金等に関する法律」が成立した。
- 2日 岡本会員が長崎県警察本部の依頼により警察学校において被害者の心情と支援について講演した。
- 3日 第58回全国矯正展出展した。
- 5日 第176回関西集会
- 18日 第152回関東集会

2016年7月

- 1日 野口会員が近畿管区警察学校にて講演した。
- 3日 第177回関西集会
- 8日 高橋（幸）幹事が（社）日本精神科看護協会／精神科認定看護師資格拾得の為の研修にて講師を務めた。
- 16日 第153回関東集会

会員の声

ミャンマーで娘を殺害されて

白松 弘美

娘の千晴は、静岡県立ガンセンターで看護師をしていました。仕事柄どうしても死に向き合うことが多く、特に若い方の死には、いたたまれなくなり学生時代から好きだった海外旅行に行くことで気持ちをリフレッシュしていました。今回も1週間の予定でミャンマーへ向かいました。

2011年9月29日、朝10時頃、外務省からかってきた1本の電話で私たちの苦しみは始まりました。「娘さんが事件に巻き込まれて殺害されたい。詳細は調査中のため、分かり次第連絡する」とのことでした。私たちは何かの間違いだと祈る気持ちでいましたが、程なくして28日夕方にタクシー運転手により殺害されたことが判明しました。

私たちは、精神的に耐えがたい苦しみの中「娘をそのまま日本に返すか、現地で荼毘に付すか。保険はどうなっているか。日本に送る費用はどうするか」等の決断を迫られ、何故こんな事で苦しめられなければならないのか、怒りを何処にぶつければ良いのかもがくばかりでした。

事件後2ヶ月程で死刑判決が出ました。相手国としては早く事件を処理し、観光客が元通り戻ることを最優先しただけなのではないかと考えてしまいます。「死刑以上に何を望むのか」と問われると返答に窮しますが、私たち家族としては「何故千晴を殺害したのか」加害者から真実を聞いたかったです。しかし、国が違うためにどうすることも出来ないうちに時間は過ぎてしまいました。余りにも早い結末に呆然とするばかりでした。国外で被害に遭うと、国内とは別の問題があります。あすの会で要望していた外国での犯罪被害に対しても給付金を支給する「国外犯罪被害者弔慰金等の支給に関する法律」が6月1日に可決されたことは、遅ればせながら歓迎すべきことであります。

事件後2年位してあすの会の人達に出会い、悩み、苦しみを相談する事ができるようになりました。もっと早くたどり着く事が出来れば良かったのと思います。これからも大きなことは出来ませんが、何をすれば千晴が喜んでくれるか考えていきたいと思っています。